



「ポケット」だより

2023年
秋号

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」週間です

暴力は、その対象の性別や加害者・被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありません。特に、配偶者等からの暴力、性犯罪・性暴力、ストーカー行為、売買春、人身取引、セクシュアルハラスメント等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。この運動を一つの機会ととらえ、京田辺市は、京都府田辺警察署との共同主催で、各種関係団体との連携、協力のもと、社会の意識啓発など、女性に対する暴力の問題に関する取組を一層強化することを目的に実施します。

《街頭啓発》 ◎日時：11月13日(月)午後6時～6時30分

◎場所：近鉄新田辺駅前周辺



女性に対する暴力根絶の
ためのシンボルマーク

《啓発講演会》「パートナーの言葉や態度に傷ついたことはありませんか？」

～心地よい関係をめざして～

講師：井山 里美さん (NPO法人女性と子どものエンパワメント関西 事務局長)

◎日時：令和5年11月20日(月)午後2時30分～4時 参加無料

◎場所：京田辺市コミュニティホール

◎定員：30名【要予約・先着順：11月8日(水)～申込開始】

◎託児：あり、無料先着3名【生後6か月～就学前。申込期限：11月14日(火)】

《啓発パネル展》「夫婦・恋人間の暴力」について

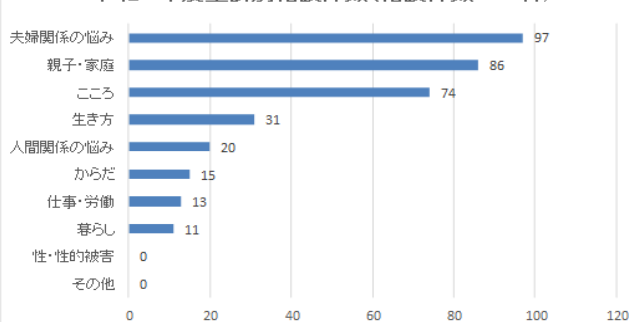
◎実施期間：11月13日(月)～11月24日(金)(土日・祝日除く)

◎場所：京田辺市役所2階ロビー および 女性交流支援ルーム

講演会申込み・問い合わせ先：京田辺市女性交流支援ルーム TEL 65-3709 (平日：午前10時～午後6時)

令和4年度「女性の相談室」主訴別相談件数について

令和4年度主訴別相談件数(相談件数347件)



令和4年度「女性の相談室」の相談件数は347件でした。主な相談の内容は「夫婦関係」に関する相談が最も多く、次に「親子・家庭」、「ころ」となっています。

「女性の相談室」では、夫婦の問題、子育て、女性に対する暴力(ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメントなど)等、女性が生きていく中でのさまざまな悩みをお聴きし、あなたとともに考え、次の一歩を踏み出すためのお手伝いをします。

ひとりで悩まず、ご相談ください。

さまざまな分野における男女共同参画を推進するため、性別にとらわれず個性を発揮し、活躍している人を紹介します。



▲株式会社ハッス デフサッカー男子日本代表

堀井 聡太(ほりい そうた)さん

「趣味は一番の趣味はバイクですが、カフェや料理をするのも好きです。」

現在フットボールのメーカーに勤めており、商品のカタログなどの写真を撮る仕事をしていますし、仕事の後はバイクでサッカーの練習に行ったりしているので仕事と趣味のバランスはとれています。

「デフサッカーのことを教えてください」

「デフサッカーとは聴覚障がい者のサッカーであり、競技中は補聴器を外すことが義務づけられています。そこから、音のないサッカーとも呼ばれています。僕は生まれた時から聴覚に障がいがあり、補聴器を付けても50%くらいしか聞こえないので、相手の唇の動きや言葉を読み取る読唇術を身につけています。」

「サッカーを始めてから変わったところは？」

「6歳くらいにテレビでサッカーを見てから興味があったのですが、障がいがある原因で仲間外れにされる経験も多かったから、一般の方とサッカーをやることもあったかなかなって思っていました。」

「しかし、小学校5年生くらいの時に父から、障がいだからといって出来ないことはないよ、という言葉をかけてくれたので、そこに勇気をもらってサッカーをするようになった。」

「サッカーをしていて嬉しいことは？」

「一般のサッカーは声でコミュニケーションをとりますが、僕の場合は声が聞こえないので、見えるだけ周りの人の顔を見てコミュニケーションをとる時間があるので、コミュニケーションを取って、それを頭に入れてプレイングします。」

難しいですが、周囲を見るのが大切だと思います。そんな中で、日本代表に選ばれ、日の丸を背負って自分の好きなサッカーをプレーできることは大変嬉しかったです。

「サッカーをしていて大変だったことは？」

「高校生の時に部員120名を超えるサッカー部に所属していたのですが、その時は自分の耳のことを伝える時間があまりなく、なかなか自分の考えていることが周囲に伝わらなかったのが大変でした。」

「補聴器を付けたら100%聞こえていると勘違いされることも多く、ミーティングで毎回一番前に座っているのに、なぜ聞こえないのか、真面目に聞くこととしていない」と誤解をされることもありました。

「自分自身も、会話がスムーズに進んでいる中で、ちょっと待つ、聞こえないからもう少し一度話してと言った会話を止めてしまつたのが申し訳ないなという感じが、きちんと自分の耳の話をしている感じが、いいのも良かったと思います。」

「今後の目標は？」

「デフサッカーは認知度が低いため、世界大会やフットボールの舞台はほぼ無観客に近いです。僕も含めてデフサッカーの選手たちは、皆、天観客の中でピッチに立つ、日の丸を背負った日本代表としてプレーしたいという夢を持っています。」

「また、後に続くデフの子もたくさん、そのような舞台を用意してあげるのが僕の夢でもあります。2025年の東京デフフットボールの舞台が観客で埋め尽くされるような選手になって、最高の景色を見たいのが目標です。」

「現在は日本代表の影響力を活かして、積極的に講演活動を行っているという堀井さん。福やが話しながらも、目標に向かって進める姿に信念を感じました。」

詳細版はHPをご覧ください！

☆ 京都府女性の船の研修に参加して No.2 ☆

京都府女性の船は、船を活用した研修でコロナ禍により4年ぶりの実施となり、女性が地域や職場で活躍するために地域・職場の身近な課題について共に学び、仲間づくりをするために京都府が実施している研修です。令和5年6月2日～5日、「第41回京都府女性の船」に京田辺市から2名の方が参加されました。今回は、嘉島明子さんに研修の感想と今後の抱負についてお聞きしました。



女性の船での研修、学びは本当に有意義でした。台風対応のため乗船されなかった府知事のリモートによる講演は京都愛にあふれ、参加した皆と共に京都を盛り上げるためにもっと頑張らねばという思いがわきました。「食生活・食育」をテーマに班員との会話、学びは時間が足りないくらい楽しく、あっという間の4日間でした。スタッフの方々のサポートも細やかで、一生の思い出、友ができたことを心から感謝致します。(左写真は、付箋を使ったグループワークの発表資料)

「女性の相談室」より

ひとりで悩んでいませんか？女性の相談室では、女性の抱える悩みの解決に向けて、専門相談（フェミニスト・カウンセリング）や法律相談を下記のとおり行い、女性のカウンセラーや弁護士などが丁寧にお話を伺います。

京田辺市
女性交流支援ルーム
「女性の相談室」

専用ダイヤル

(0774)65-3727

受付時間
月曜日～金曜日
午前10時～正午
午後1時～5時

▷ 専門相談 場所 女性交流支援ルーム

11月 2日(木)・11月16日(木)
12月 7日(木)・12月21日(木)・12月22日(金)
1月 12日(金)・1月18日(木)

①13:30～ ②14:30～ ③15:30～

▷ 出張専門相談(11月、1月)

11月24日(金) 北部住民センター
1月26日(金) 南部まちづくりセンター

①10:00～ ②11:00～ ③12:00～

▷ 法律相談 場所 女性交流支援ルーム

11月22日(水)・12月27日(水)・1月24日(水)

①13:30～ ②14:00～ ③14:30～

ご利用にあたり、予約が必要ですので、「女性の相談室」にお電話ください。料金は無料です。

情報ライブラリー

本・DVDの紹介

情報ライブラリーでは、各種情報や資料を収集し、男女共同参画に関する図書、DVDの貸し出しをしています。その一部をご紹介します。お気に入りの一冊が見つかるといいですね。



本

マンガ古典文学 『古事記(上)・(下)』
里中 満智子

712年(奈良時代)に成立した、歴史書「古事記」の原典は、漢字だけで書かれているため、現代人が読むのは一苦勞ですが、本作品はマンガで描かれているため決して難しいものではありません。まずはマンガで「神々の物語」に挑戦してみませんか？

『法律・お金・経営のプロが教える女性のための「起業の教科書」』

豊増 さくら (編著)

何から始めればいいのか？手続きは難しいの？お金はどれくらい必要？家事や育児と両立できる？本当に稼げるの？「知ってればよかった…」と、後悔しないためのノウハウがいっぱい！あなたの不安や悩みを解消します。

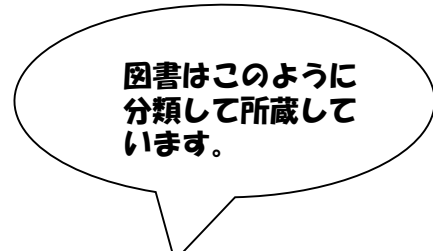


DVD

『大統領の料理人』

監督 クリスチャン・ヴァンサン
出演 カトリーヌ・フロ 他

片田舎で小さなレストランを営むオルタンスが、スカウトされ連れて来られた新しい勤務先はエリゼ宮。そこはなんと、フランス大統領官邸のプライベートキッチンだった。堅苦しいメニュー、規律に縛られた食事スタイル、そして嫉妬うずまく官邸料理人たちの中で、彼女が作り出すのはく美味しい)の本当の意味を追求した料理の数々。やがて大統領のお皿に食べ残しがなくなってきたある日、彼女に直接声をかけてきた大統領の口から意外な話が飛び出す…。



図書はこのような分類して所蔵しています。

・からだ・ころこ	・生き方
・家族・子育て	・仕事
・暴力(DV・性暴力など)	
・男女共同参画・女性学・男性学	
・絵本・シリーズもの	など

初めての方は「貸出券」をお作りします。借りたい図書・DVD等を交流スペースにお持ちください。ぜひ手にとってご覧ください。

貸出券→



情報ライブラリー

図書等を借りることができます！

市内在住・通勤・通学の方なら、どなたでも図書等を借りることができます。
図書は、お一人2冊2週間まで
ビデオ（DVD）は、お一人1本1週間まで
※くわしくは女性交流支援ルームにお問い合わせください。

交流スペース

市民のみなさんの交流の場等に
ご利用できます！

情報ボックスのご利用については、登録が必要になります。
※団体やグループでの利用について、くわしくは女性交流支援ルームにお問い合わせください。

「女性の相談室」（すべて女性がお聴きします）

女性が生きていく中でのさまざまな悩みをお聴きし、あなたとともに考え、次の一歩を踏み出すためのお手伝いをします。一人で悩まず、安心して、ご相談ください。秘密は厳守します。

一般相談（予約不要）

月曜日～金曜日
午前10時～正午
午後1時～5時

専門相談（要予約）

（フェミニスト・カウンセリング）

毎月第1・3木曜日
奇数月第1水曜日
午後1時30分～4時30分

法律相談（要予約）

毎月第4水曜日
（祝日の場合は第3水曜日）
午後1時30分～3時

料金は無料です。まずはお電話ください。

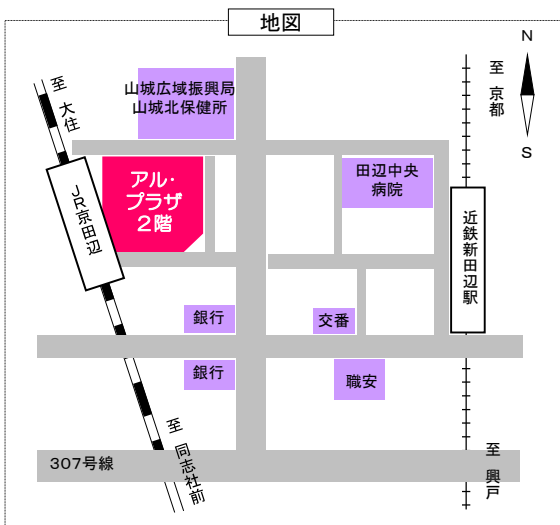
「女性の相談室」

専用ダイヤル

(0774)65-3727

受付時間

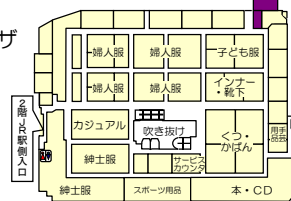
月曜日～金曜日
午前10時～午後5時



アクセス

JR 京田辺駅すぐ
近鉄 新田辺駅 徒歩5分
（アル・プラザ京田辺2階）

アル・プラザ
平面図



こちらが
女性交流支援ルーム
「ポケット」です。

開室日
開室時間
休室日

月曜日～金曜日
午前10時から午後6時まで
土・日・祝日 年末年始
アル・プラザ京田辺休業日

京田辺市 市民部 人権啓発推進課

京田辺市女性交流支援ルーム「ポケット」

TEL/FAX 0774-65-3709（直通）
〈相談専用〉 TEL 0774-65-3727

愛称「ポケット」は、小さいけれど、いつでも情報が取り出せ、誰もが集まりやすい場所という意味で一般公募により名付けられました。

